

## 事務事業評価

平成26年度

		担当課		社会教育課					
基本事項	事務事業名	自主文化事業				整理番号	2301		
	根拠法令等	文化芸術振興基本法				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第7章 生きる力と創造力を持った人を育てる	予算科	10款	4項	1目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第5節 文化活動の充実	事業区分	市民サービス事業					
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	地方都市にあっては、都会に比べ、芸術性の高い優れた舞台芸術や人気アーティスト等に接する機会が少ない。そのため、市民や文化団体からの強い要望により、いろいろなジャンルの公演ができる島原文化会館が、昭和49年に完成した。会館完成後、現在まで、年間4~5回の自主文化事業が開催されている。また、合併により有明文化会館においても、公演を行っている。				計画期間	始期 平成 終期 平成		
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的的 (どのような状態にしたいのか)	島原市民全体を対象とし、良質な公演等を安価で提供することにより、子どもから大人までの市民全体の文化の向上、精神的な充足を目的に開催する。							
	目的達成のための具体的手段・方法	島原市自主文化事業利用者懇談会を開催し、利用者の声を聞きながら民意を反映した自主事業の選定を行い、さまざまな広報・広告媒体を上手に活用し、集客増に努める。(自主事業選定にあたっては、①芸術性②娯楽性③こども向け④人気アーティストの4本柱を基本として選定している。)							
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 ( 内 容 )				単位	24年度 25年度 26年度		
		①自主文化事業入場者(率)のアップ。大ホール客席90%以上の入場者を目指とする。(島原文化会館が1,200席、有明文化会館が700席のホールなので各館2公演とした時の90%を入場者の目標値とし、3,420人とする。)				目標	人 3420 3420 3420		
						実績	人 3507 2705		
						達成率	% 102.5 79.1 0.0		
	活動指標 (目的達成のために行った活動実績)	②				目標			
		①公演の実施				実績			
		②自主文化事業利用者懇談会実施				達成率			
						目標	回 4 4 4		
事業費等の推移	年度区分	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度 27年度		
		実績値		実績値	実績値	実績値	予算 計画		
	①直 接 事 業 費 (千円)	16,370		16,463	16,890	16,983	12,928 12,928		
	財源内訳	国 県 支 出 金							
		地 方 債							
		そ の 他	6,736	6,159	6,055	6,690	10,480 10,480		
		一 般 財 源	9,634	10,304	10,835	10,293	2,448 2,448		
	②従事職員給与費 b1×b2	2,150		2,171	1,965	1,948	2,195 0		
	従事職員数(人) b1	0.30		0.30	0.27	0.27	0.30 0.00		
	職員平均人件費 b2	7,168		7,236	7,277	7,213	7,317		
	事 業 費 合 計 ① + ②	18,520		18,634	18,855	18,931	15,123 12,928		

## 【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 身近で本物の公演を鑑賞したいという住民ニーズは変わっておらず事業の必要性や役割は、変わらない。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 指定管理者等民間開催も考えられるが、過去に黒字になったことはなく赤字となるため、良質な公演を安価で提供するには市で実施すべきと考える。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 自主事業の性格上、現状に見合っていると思われる。入場料を安価にしているため、赤字はさけられないが市民の満足度は高い。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 午間4~5公演を行っているが、ここ2年は、平均入場率が90%前後であり、市民からも好評を得ている。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上的余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 懇談会等の意見を聞きながら事業選定(公演内容)し、成果の向上を図る。	A
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 懇談会等の意見を聞きながら適切な公演を選定すると共に、原則、前年度を下回る予算を目指す。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 事業が公演であるという特殊性から、事業の統合・事務の省力化は考えにくい。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 公演当日の運営は、グループ内や文化会館の協力を得ており、問題はない。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 公演当日の運営は、グループ内や文化会館の協力を得ており、問題はない。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			3.00

## ◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input checked="" type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	予算の範囲内で、市民のニーズにできる限り答えられるよう、事業選定を行い、より良いサービスの提供に努めている。市民参加のワークショップ(子ども狂言)も行っており、今後も継続実施の予定である。事業選定にあたっては、各種団体代表者の意見・要望を聞く自主文化事業懇談会を開催し、事業選定の判断材料としている。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 公演の選定に当たっては自主文化事業懇談会の他、アンケート等を実施するなど、広く市民の声を参考したい。		

・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せてを記載ください。  
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。

## 【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	受益者負担の原則に立ち、料金の設定基準を明確化し、事業ごとに適切な料金を徴収すべきではないか。

## 【3次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	事業としては「維持」であるが、新たに市民からのアイデアを募る公募型に転換を図る際は、①提案者の意見を削がないよう、②企画ができる人材の育成と入場者数を増やすことの両立、③質の確保と適切な料金設定をとの意見を踏まえ、公募要綱等の精査を行われた上で実施されることを求める。

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況			
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減	
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)		△ 2,514 (千円)